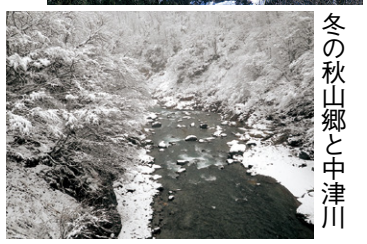




◆秋山郷

秘境で知られる秋山郷は、長野県下内郡栄村と新潟県魚沼郡津南町にまたがる中津川沿いの地域の名称です。

日本の秘境一〇〇選に数えられており、交通事情が悪く、豪雪地帯で閉ざされた環境から平家の落人伝説や特有の風俗習慣が残っている地域です。



冬の秋山郷と中津川

平家の落人伝説とは、平家一門の平勝秀が落ち延びたとされているものです。

また、平家一門で越後で勢力のあった城資長一族が越後平家と言われ逃げ延びたとの説もあります。

秋山郷の名の由来は、この地域では川



鳥甲山

の下流から見て上流を「アゲ・アギ」と言い、それが訛って「アキ」となり、谷を「ヤ」、間を「マ」と呼んで上流の谷間の村という意味で「アキヤマ」と呼ばれるようになり、天明三年の飢饉で一村が全滅した「大秋山村」に由来しているようです。

秋山郷は、江戸時代の文人鈴木牧之が秋山を訪れ風俗や習慣を書き留めた著書「秋山紀行」が出版されて有名になりました。

「秋山紀行」は、天保二年（一八三二）には完成していましたが、依頼をした十返舎一九の死により出版が見送られ、昭和三十七年になって出版されました。

秋山郷へのアクセスは、志賀高原方面からのルートと津南町方面からのルートがありますが、積雪期は津南町方面からのルートのみとなります。平成一八年には四好もの積雪となり唯一の生命線である国道四〇五号線が通行不能となり住民

五〇〇人が約一カ月間孤立するといった事態に陥ったこともあります。



林道除雪と苗場山

秋山郷に関係する国有林は、赤石沢・岩菅・鳥甲の約五五三六二畝で、佐武流山周辺森林生態系保護地域（八八三九畝）、苗場山湿原植物群落保護林（一一五一畝）、鳥甲山特定地理等保護林（一一一九畝）、月夜立特定地理等保護林（一七六畝）を設定して貴重な自然や生態系を保全しているほか、苗場山二二四五畝、佐武流山二一九一畝、鳥甲山二〇三七畝があり夏場には多くの登山客で賑わっています。

また、スギ・カラマツを中心とした人工林もあり、今年度は三七畝の間伐と四二畝の保育作業を予定しています。

秋山郷は、V字渓谷で「蛇淵の滝」「夫婦の滝」「不動の滝」「大瀬の滝」「小水の滝」「大滝」などの多くの滝が見られるほか、切明、朽川、和山、上野原、屋敷、小赤沢など多くの温泉もあります。

小苗場山の登山口の近くにある小赤沢温泉の楽養館は鉄分を含んだ温泉で赤褐色をしています。湧出口では無色透明



(上)楽養館 (左)切明温泉



の源泉が酸化して変色するようです。また、切明温泉では、スコップで河原を掘って自分だけの露天風呂を作ることにも出来ます。

秋の秋山郷は、十月下旬が紅葉の見頃となり、多くの種類の樹木が五色織りなす色彩ですばらしい景色を見せてくれます。中でも、紅葉と白樺と鳥甲山を湖面に浮かべる天池の景色は圧巻です。

この秋は「秘境・秋山郷」へ来られて日本の原風景に触れてみては如何でしょうか。



天池の紅葉